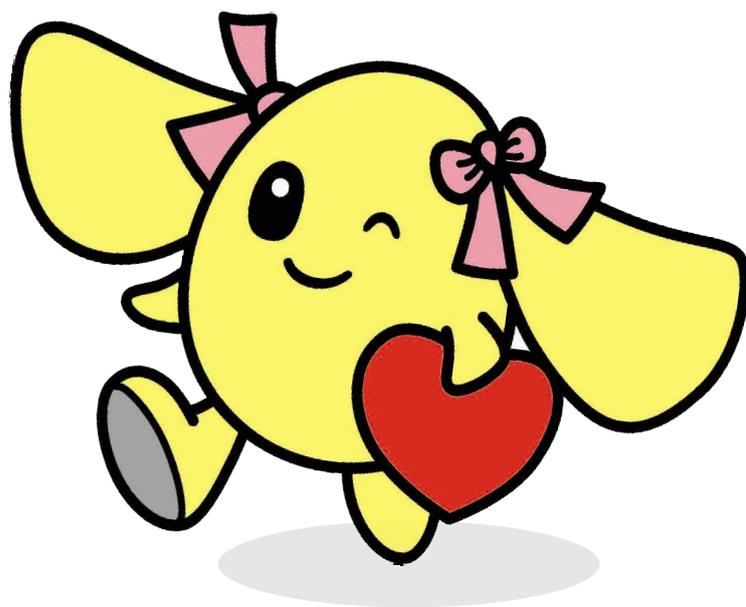


第1次

社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会

中期経営計画

(平成29年度～33年度)



平成29年3月

社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会

## 目 次

|                          |    |
|--------------------------|----|
| I. はじめに                  |    |
| 1. 計画策定の主旨               | 1  |
| 2. 計画の名称                 | 2  |
| 3. 計画の期間                 | 2  |
| 4. 計画の進行管理               | 2  |
| 5. 計画の位置付け               | 3  |
| II. 使命、理念、職員行動規範         |    |
| 1. 使命                    | 4  |
| 2. 事業実施の原則               | 4  |
| 3. 理念、経営方針               | 4  |
| 4. 職員行動規範                | 5  |
| III. 現状と課題               |    |
| 1. 本会を取り巻く現状と課題          | 6  |
| IV. 計画の体系、推進体制           |    |
| 1. 計画の体系                 | 7  |
| 2. 推進体制                  | 8  |
| 3. 年次計画                  | 8  |
| V. 重点実施項目別行動計画           |    |
| 1. 理念の浸透及び実践             |    |
| (1) 理念・使命に基づいた活動の実践      | 11 |
| 2. 地域で支え合い、助け合う仕組みづくり    |    |
| (1) 住民主体の地域づくり           | 12 |
| 3. 新たな事業展開に向けた取り組み       |    |
| (1) 地域課題への取り組み           | 17 |
| (2) あらゆる生活課題への取り組み       | 18 |
| 4. 良質な福祉サービスの提供          |    |
| (1) 質の向上に向けた継続的な取り組み     | 21 |
| 5. 経営基盤の強化・安定に向けた取り組みの推進 |    |
| (1) 公正かつ透明性の高い適正な経営の取り組み | 23 |
| (2) 経営の進行管理・分析による健全経営の確認 | 24 |
| (3) 人材確保・定着に向けた取り組み      | 25 |
| VI. その他                  |    |
| 1. 計画策定会議の実施状況           | 31 |
| 2. 計画策定委員名簿              | 32 |

# I. はじめに

## 1. 計画策定の趣旨

魚沼市社会福祉協議会は、平成16年11月1日に6町村社会福祉協議会（堀之内町・小出町・湯之谷村・広神村・守門村・入広瀬村）が合併し、中越大震災のさなかに魚沼市誕生と時を同じくして発足しました。

この間地域の状況は、少子高齢化・核家族化の進行、人口の減少などを背景に、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯などが増加を続ける中、家庭内や地域での人間関係が希薄化し、地域での課題解決が難しくなっています。

加えて、景気回復の遅れなど厳しい経済状況により生活困窮の問題、ひきこもりや権利擁護など、福祉課題が複雑多様化し、従来の福祉制度の枠組みでの対応が困難な状況となり、『新たな支え合いの仕組み』づくりが求められています。

この間、本会は、「あたたかい手 やさしい心で つなげよう福祉の輪」の実現をめざして、住民、行政、社会福祉関係機関、施設、民生委員・児童委員、ボランティア等と協働し、地域福祉を推進する中核的な団体として各事業を実施してきました。

しかし、法人運営においては、中長期に亘る活動の指針となるべき計画が無く、内外に本会の将来を示すことができない状況でありました。

加えて、職員の処遇や労務管理面では採用している給料表や退職金制度の相違などが、地域福祉部門と介護福祉部門の人事交流の障害となっていました。

このような、本会を取り巻く状況や新たな時代の変化に対応し、地域福祉を総合的に推進するとともに、組織マネジメント・人材育成などに関する取り組みを推進するため計画を策定しました。



## 2. 計画の名称

---

この計画は『第1次社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会中期経営計画』とします。

### 《参考》

経営とは、事業目的を設定し、それを達成するために、継続的・計画的に意思決定を行って実行に移し、事業を管理・遂行することとされています。

また、経営計画とは、法人があるべき姿（ビジョン・将来構想）を設定し、そこに到達するための道筋を示したものとされています。

本計画では、計画期間とリンクした財政計画まで策定することは出来ませんが、事業推進の重点項目を示し、その目標に到達すべき行動計画を定めていることから、名称を『中期経営計画』としました。

## 3. 計画の期間

---

この計画の期間は『平成29年度から平成33年度までの5年間』とします。

## 4. 計画の進行管理

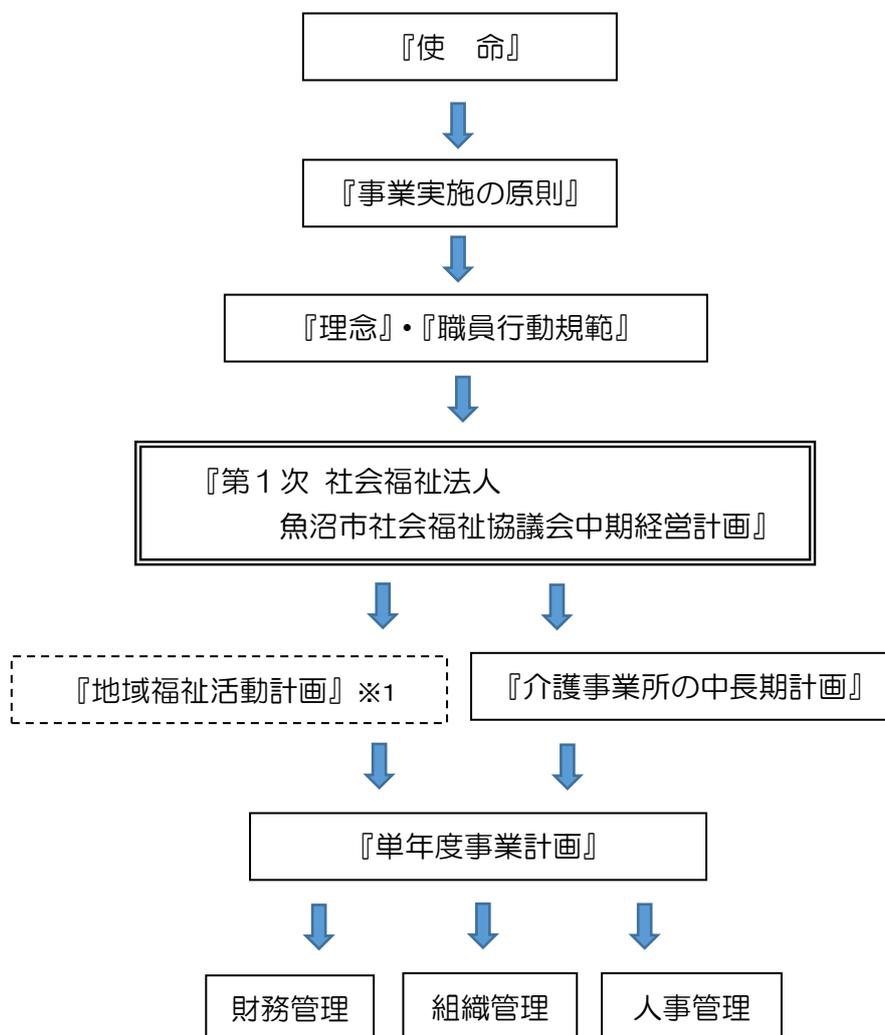
---

この計画の中間年である平成31年度に計画の進捗状況の確認・評価を実施します。



## 5. 計画の位置付け

この計画と本会の使命・事業実施の原則、理念・職員行動規範及び、単年度事業計画などの関係は次のとおりです。



※1 『地域福祉活動計画』は、社会福祉協議会が住民・福祉団体関係者と共に策定する民間の活動・行動計画です。

## Ⅱ. 使命、理念、職員行動規範

### 1. 使命

---

#### 使命

地域福祉を推進する中核的な団体として、誰もが安心して暮ることができる福祉のまちづくりを推進することを使命とし、魚沼市における社会福祉事業、その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発展並びに活性化により地域福祉の推進を図る。

(平成 27 年 5 月 28 日策定)

### 2. 事業実施の原則

---

#### 事業実施の原則

使命を達成するために、以下の原則に基づき事業を実施する。

- ① 住民参加・協働による福祉社会の実現
- ② 地域における利用者本位の福祉サービスの実現
- ③ 地域に根ざした総合的な支援体制の実現
- ④ 地域の福祉ニーズに基づく先駆的な取り組みへのたゆみない挑戦

(社会福祉法人全国社会福祉協議会『市町村社協経営指針』より)

### 3. 理念、経営方針

---

#### 法人理念

組織の価値判断基準を示し、全役職員の思いや行動をひとつにすることを目的に次のとおり理念を定める。

『あたたかい手 やさしい心で つなげよう福祉の輪』

(平成 26 年 5 月 19 日策定)

#### 介護福祉事業経営方針

介護の仕事を通して人とのふれあいを大切にし、笑顔があふれる快適な地域社会の創造に寄与します。

『思いやりと笑顔の介護で 地域福祉を支えます』

(平成 23 年 2 月 9 日策定)

#### 4. 職員行動規範

---

私たちは、住民参加を基本とした地域との協働による地域福祉の推進を使命とし、運営の透明性と公正性の確保とともに、効果的・効率的な事業の展開と何事にも果敢に挑戦する姿勢、そして、絶えず高い倫理観を持って行動することを基本に、以下のとおり定めます。

- ◎ 地域に出向き 住民を主体とした 地域福祉活動を展開します
- ◎ 常に学ぶ姿勢と向上心を持ち 何事にも果敢に挑戦します
- ◎ 共に学び共に育み共に理解し合い 人とのつながりを築きます
- ◎ 高い倫理観を持ち 法令を遵守し 常に誠実に行動します

(平成27年2月3日策定)



## Ⅲ. 現状と課題

### 1. 本会を取り巻く現状と課題

---

本会を取り巻く状況については、冒頭『はじめに』で記載したとおりです。

このような状況を再確認し、組織、財政、人材の状況を踏まえ、推進課題を整理し、実施項目を達成できるよう、担当部門・年度別での取り組みスケジュールを明記し、地域福祉を推進出来るよう取り組みを進めます。



# IV. 計画の体系、推進体制

## 1. 計画の体系

本計画では、大項目に5本の重点実施項目を掲げ、大項目に中項目を設定し、具体的な行動計画を定めています。

### (1) 計画の骨子



## 2. 推進体制

本計画の各行動計画に推進担当及び年次計画を明記し、目標達成に向けて事業を進めます。

## 3. 年次計画

事業の進捗状況や進行管理を行うため、各行動計画に年次計画を定めます。

### 担当別・年次別実施計画

| 担当                  | 実施内容                      | ページ | 29年度  | 30年度  | 31年度  | 32年度     | 33年度  |
|---------------------|---------------------------|-----|-------|-------|-------|----------|-------|
| 総務課                 | 社協理念・行動規範の浸透と共有           | 11  | 検討    | 実施    | ⇒     | ⇒        | 評価    |
|                     | 社協組織の経営管理のしくみづくりの検討       | 11  | 検討・提案 | 結成    | 実施    | ⇒        | 実施・評価 |
|                     | 多様な媒体を活用した情報発信の強化         | 16  | 実施    | ⇒     | ⇒     | ⇒        | ⇒     |
|                     | 広報誌の効果的・効率的な発行            | 16  | 実施    | ⇒     | ⇒     | ⇒        | ⇒     |
|                     | サービス提供方針の明文化と浸透           | 21  | 実施    | ⇒     | ⇒     | ⇒        | ⇒     |
|                     | 苦情・相談体制の整備                | 21  | 実施    | ⇒     | ⇒     | ⇒        | ⇒     |
|                     | リスクマネジメント体制の構築            | 21  | 検討    | ⇒     | 実施    | ⇒        | ⇒     |
|                     | サービスの自己点検と改善              | 22  | 実施    | ⇒     | ⇒     | ⇒        | ⇒     |
|                     | 社会福祉法人制度改革への対応            | 23  | 実施    | ⇒     | ⇒     | ⇒        | ⇒     |
|                     | 事務局拠点の在り方の検討              | 23  | 情報収集  | ⇒     | 検討・実施 | ⇒        | ⇒     |
|                     | 倫理規定構築                    | 23  |       | 策定・実施 |       |          |       |
|                     | 法人・地域福祉課・介護福祉課の定期的な進捗状況確認 | 24  | 実施    | ⇒     | ⇒     | ⇒        | ⇒     |
|                     | 計画中間年で評価・検証の実施            | 24  |       |       | 実施    |          |       |
|                     | 半期・年間経営分析の実施              | 25  | 実施    | ⇒     | ⇒     | ⇒        | ⇒     |
| 事業収入増に向けた取り組みの検討・実施 | 26                        | 実施  | ⇒     | ⇒     | ⇒     | ⇒        |       |
| 収益事業の検討             | 26                        |     | 情報交換  | 情報整理  | 戦略立案  | 具体的手法の検討 |       |

| 担当                 | 実施内容                            | ページ | 29年度  | 30年度  | 31年度   | 32年度  | 33年度    |
|--------------------|---------------------------------|-----|-------|-------|--------|-------|---------|
| 総務課                | 社協会費及び共同募金の拡大に向けた取り組み           | 26  | 連携強化  | ⇒     | ⇒      | ⇒     | ⇒       |
|                    | モラルサーベイチェックの継続実施                | 28  |       | 実施    | 分析     | 改善案協議 | 改善案実施   |
|                    | ライフワークバランスに配慮した取り組み             | 28  |       |       | メンバー策定 | 改善案協議 | 改善案実施   |
|                    | 職員間のコミュニケーションの活性化の取り組み検討と実施     | 28  | 実施    | ⇒     | ⇒      | ⇒     | ⇒       |
|                    | 役割に応じた職務手当・資格手当の検討              | 29  |       | 分析・検討 | ⇒      | 結論    |         |
|                    | 研修体系の整備                         | 30  |       |       | 実施     | ⇒     | ⇒       |
|                    | キャリアパス要件整備                      | 30  | 検討    | ⇒     | 実施     | ⇒     | ⇒       |
|                    | 面談の継続実施                         | 30  | 実施    | ⇒     | ⇒      | ⇒     | ⇒       |
|                    | 人事評価の在り方検討                      | 30  |       |       | 検討     | ⇒     | 検討結果の反映 |
| 地域・介護福祉課           | 人材情報管理システムの導入                   | 13  | 試行    | 実施    | ⇒      | ⇒     | ⇒       |
|                    | 生活管理が必要な人へのヘルパー派遣               | 20  | ニーズ把握 | 検討    | 実施     | ⇒     | ⇒       |
|                    | 業務手順書・各種マニュアルの見直し策定及び周知         | 22  | 実施    | ⇒     | ⇒      | ⇒     | ⇒       |
|                    | 事故報告書・ヒアリハット報告書の分析と再発防止に向けた取り組み | 22  | 検討・実施 | 実施    | ⇒      | ⇒     | ⇒       |
| 地域福祉課              | 福祉教育の推進                         | 12  | 検討・実施 | ⇒     | 評価     | 実施    | ⇒       |
|                    | 支え合いマップの作成                      | 12  | 検討    | ⇒     | 実施     | 評価    |         |
|                    | 地域の茶の間事業の推進                     | 14  | 調査    | 検討    |        |       |         |
|                    | 福祉協力員制度の活用                      | 14  |       |       | 検討     |       |         |
|                    | 災害支援体制の充実                       | 15  | 実施    | 検討    | 提示     |       |         |
|                    | 防災意識や知識の向上                      | 15  | 実施    | ⇒     | ⇒      | ⇒     | ⇒       |
|                    | 地域担当制の導入                        | 17  | 試行・検討 | 実施    | 評価     |       |         |
|                    | 地域福祉推進委員会（仮称）の発足                | 17  |       | 検討    | 実施     | ⇒     | ⇒       |
|                    | 地域課題や地域の社会資源の把握（地域診断、ニーズ把握）     | 18  | 調査    | 評価    |        |       |         |
| 組織的な個別ニーズ対応の仕組みづくり | 19                              |     | 検討    | 実施    | ⇒      | ⇒     |         |

| 担当    | 実施内容               | ページ | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 32年度 | 33年度 |
|-------|--------------------|-----|------|------|------|------|------|
| 地域福祉課 | 連携における役割分担の明確化     | 19  |      |      |      | 検討   |      |
|       | 住民参加型在宅福祉サービスの実施   | 20  | 実施   | ⇒    | 評価   | 実施   | ⇒    |
|       | 生活困窮者の自立に向けた支援の強化  | 20  | 実施   | ⇒    | ⇒    | ⇒    | ⇒    |
| 介護福祉課 | 専門職による知識・技術の地域還元   | 13  | 実施   | ⇒    | ⇒    | ⇒    | ⇒    |
|       | 介護者への支援の取り組みの検討    | 13  | 調査   | 検討   | ⇒    | 養成   | 実施   |
|       | 通所介護事業所における地域交流の推進 | 14  |      |      |      | 検討   | 実施   |
|       | 小規模多機能型居宅介護の検討     | 18  |      |      |      | 検討   |      |
|       | 予防重視型事業の検討         | 18  |      |      |      | 検討   |      |
|       | 月次実績会議の開催          | 25  | 実施   | ⇒    | ⇒    | ⇒    | ⇒    |
|       | コスト意識の醸成           | 27  | 実施   | ⇒    | ⇒    | ⇒    | ⇒    |
|       | 利用者獲得の取り組み         | 27  | 実施   | ⇒    | ⇒    | ⇒    | ⇒    |

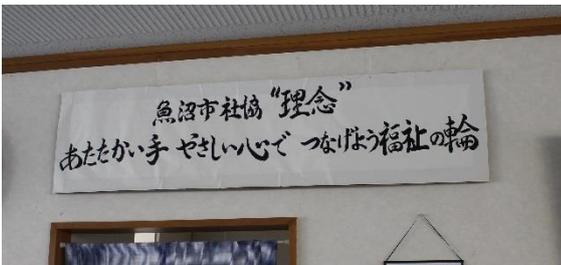
## V. 重点実施項目別行動計画

|        |     |                     |
|--------|-----|---------------------|
| 重点実施項目 | 大項目 | 1. 理念の浸透及び実践        |
|        | 中項目 | (1) 理念・使命に基づいた活動の実践 |
| 行動計画   |     | ① 社協組織マネジメントの実施     |

### 【達成目標】

・魚沼市社会福祉協議会の理念や使命の実現は、具体的なサービス実践の場である係や事業所の活動が効果的に行われてこそ可能となります。社協の理念や使命をすべての職員が共有し、経営資源（「人」「物」「金」「時」「情報」）をより効果的・効率的に活用する工夫を話し合うことで、その実現を目指します。

### 【実施内容】

| No. | 内 容  | 推進（副）担当               |
|-----|--|-----------------------|
| ①   | <p>理念・行動規範の浸透と共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理念、方針等を明確にし、全職員に浸透するような仕組みをつくりまします。職員自身の「自発性」や「創造性」を大切にしたい人材育成を目指します。</li> </ul>  | <p>総務課<br/>(法人横断)</p> |
| ②   | <p>社協組織の経営管理しくみづくりの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員参画によるワーキングチームを結成し、PDCA マネジメントサイクル（管理サイクル）のしくみづくりや運用を行います。</li> </ul>   | <p>総務課<br/>(法人横断)</p> |

### 【年次計画】

|   | 29年度 | 30年度  | 31年度 | 32年度 | 33年度  |
|---|------|-------|------|------|-------|
| ① | 検討   | 実施    | ⇒    | ⇒    | 評価    |
| ② |      | 検討・提案 | 結成   | 実施   | 実施・評価 |

|            |                   |                        |
|------------|-------------------|------------------------|
| 重点実施<br>項目 | 大項目               | 2. 地域での支え合い・助け合う仕組みづくり |
|            | 中項目               | (1) 住民主体の地域づくり         |
| 行 動 計 画    | ① 地域福祉にかかわる担い手の育成 |                        |

【達成目標】

- ・地域での支えあいや助け合いの力を高めていくため、住民意識の啓発と住民が身近な地域活動に目を向け、関心を持ち、活動への参加を促すための多様な機会や学習の場を提供します。

【実施内容】

| No. | 内 容  | 推進（副）担当 |
|-----|--|---------|
| ①   | <p>福祉教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉の意識づくり、人づくりを支援するため、様々な年齢層の市民を対象としたプログラムを開発し、福祉に対する理解促進と活動に繋げていくための福祉学習の企画・実施やサポートを行います。</li> </ul>  | 地域福祉課   |
| ②   | <p>支えあいマップの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における要援護者(気になる人)とそれに関わる人を線で結び、住宅地図(マップ)に落とし込みます。そこで見える住民のふれあい、助け合いの実態や福祉課題を把握し、取り組み課題(解決策)を探り、社協としての取り組み内容を検討・実施します。</li> </ul>   | 地域福祉課   |

|   |   |                        |
|---|---|------------------------|
| ③ | <p>人材情報管理システムの導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域における助け合い・支え合い活動を活発化するためには、地域住民の力を発揮してもらうことが最も大切です。人材情報を広い視点から集めて管理し、市民の中から地域福祉活動に関わる人材の発掘・育成を行います。</li> </ul>   | <p>地域福祉課<br/>介護福祉課</p> |
| ④ | <p>専門職による知識・技術の地域還元</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域において生活上の課題を抱える方やその家族に対し、地域住民が状況を理解し自ら助け合いの手を差し伸べられるよう、専門的な知識や技能を分かり易く伝える取り組みを継続・実施します。</li> </ul>  | <p>介護福祉課</p>           |
| ⑤ | <p>介護者への支援の取り組みの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>介護者支援の視点から、社会的孤立を防ぐことを目的にし、介護者が当たり前の生活ができる共生のまちづくりをめざし、支え合いのしくみを検討・実施します。</li> </ul>  | <p>介護福祉課</p>           |

【年次計画】

|   | 29年度  | 30年度 | 31年度 | 32年度 | 33年度 |
|---|-------|------|------|------|------|
| ① | 検討・実施 | ⇒    | 評価   | 実施   | ⇒    |
| ② | 検討    | ⇒    | 実施   |      |      |
| ③ | 試行    | 実施   | ⇒    | ⇒    | ⇒    |
| ④ | 実施    | ⇒    | ⇒    | ⇒    | ⇒    |
| ⑤ | 調査    | 検討   | ⇒    | 養成   | 実施   |

|            |                |                        |
|------------|----------------|------------------------|
| 重点実施<br>項目 | 大項目            | 2. 地域での支え合い・助け合う仕組みづくり |
|            | 中項目            | (1) 住民主体の地域づくり         |
| 行 動 計 画    | ② 多様な居場所づくりの推進 |                        |

【達成目標】

- ・地域住民やボランティアが主体となり、自助と共助の精神でふれあうことで、仲間づくりの輪を広げ、孤独感や不安感を解消するとともに、介護予防の促進及び地域コミュニティ活性化の推進を目指します。

【実施内容】

| No. | 内 容   | 推進（副）担当 |
|-----|---|---------|
| ①   | <p>地域の茶の間事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な世代が気軽に集える機会、ふれ合いながら活動できる場づくりを推進します。</li> </ul>  | 地域福祉課   |
| ②   | <p>福祉協力員制度の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な地域で誰もが安心して日々を送ることが出来るよう、助けられ上手を地域に増やす仕組みづくりが必要です。見守りや支援が必要な人を地域で支えるために、福祉協力員（地域の福祉活動のよき理解者）の設置を検討します。</li> </ul>                   | 地域福祉課   |
| ③   | <p>通所介護事業所における地域交流の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通所介護事業所の空スペースを地域に開放し、地域住民が気軽に集える場として提供できるように検討をすすめます。</li> </ul>  | 介護福祉課   |

【年次計画】

|   | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 32年度 | 33年度 |
|---|------|------|------|------|------|
| ① | 調査   | 検討   |      |      |      |
| ② |      |      | 検討   |      |      |
| ③ |      |      |      | 検討   | 実施   |

|            |                 |                        |
|------------|-----------------|------------------------|
| 重点実施<br>項目 | 大項目             | 2. 地域での支え合い・助け合う仕組みづくり |
|            | 中項目             | (1) 住民主体の地域づくり         |
| 行 動 計 画    | ③ 災害対応及び防災意識の強化 |                        |

【達成目標】

- ・平常時から災害に対する関心を持ち、災害が起きた場合の対応や支援活動ができる体制を整えます。また、地域組織や住民等による災害時要援護者の支援のための仕組みづくりを目指します。

【実施内容】

| No. | 内 容   | 推進（副）担当         |
|-----|---|-----------------|
| ①   | <p>災害支援体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ボランティアセンター設置・運営訓練を実施し、防災関係機関との連携体制を強化するとともに、訓練を通じてマニュアルの検証を行い、防災体制の充実を図ります。</li> </ul>  | 地域福祉課<br>(法人横断) |
| ②   | <p>防災意識や知識の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災に関する情報や知識の提供、災害時の応急手当などの実践的な訓練を通じ、防災意識の普及啓発をはかります。</li> </ul>   | 地域福祉課           |

【年次計画】

|   | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 32年度 | 33年度 |
|---|------|------|------|------|------|
| ① | 訓練   | 評価   | 更新   |      |      |
| ② | 実施   | ⇒    | ⇒    | ⇒    | ⇒    |

|        |           |                        |
|--------|-----------|------------------------|
| 重点実施項目 | 大項目       | 2. 地域での支え合い・助け合う仕組みづくり |
|        | 中項目       | (1) 住民主体の地域づくり         |
| 行動計画   | ④ 情報発信の充実 |                        |

【達成目標】

- 多様な媒体を活用した広報活動を検討し、社協に対する住民の理解を深め、社協の推進する地域福祉活動への参加の動機づけとなる情報発信を目指します。

【実施内容】

| No. | 内 容  | 推進（副）担当               |
|-----|--|-----------------------|
| ①   | <p>多様な媒体を活用した情報発信の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域福祉活動への市民参画をより一層拡大するとともに、本会事業への理解を深めるため、社会福祉に関する情報や本会の取り組みなどについて、わかりやすく、誰もがアクセスしやすいホームページのリニューアルを行います。</li> <li>SNS等の活用により若者層へのアプローチにも努めていきます。</li> </ul>             | <p>総務課<br/>(法人横断)</p> |
| ②   | <p>広報誌の効果的・効率的な発行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>あらゆる情報があふれる今、必要な人に確実に届く広報が望まれています。社協発行の全ての広報誌において、目的と対象を明確にして効果的な広報に努めます。</li> </ul>  | <p>総務課<br/>(法人横断)</p> |

【年次計画】

|   | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 32年度 | 33年度 |
|---|------|------|------|------|------|
| ① | 実施   | ⇒    | ⇒    | ⇒    | ⇒    |
| ② | 実施   | ⇒    | ⇒    | ⇒    | ⇒    |

|            |              |                    |
|------------|--------------|--------------------|
| 重点実施<br>項目 | 大項目          | 3. 新たな事業展開に向けた取り組み |
|            | 中項目          | (1) 地域課題への取り組み     |
| 行 動 計 画    | ① 活動推進エリアの設定 |                    |

【達成目標】

- ・小地域での福祉ネットワークづくりや社会資源のコーディネート機能を強化するために、地域の特性に合った総合的・包括的な支援を目指します。

【実施内容】

| No. | 内 容   | 推進（副）担当 |
|-----|---|---------|
| ①   | <p>地域担当制の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な生活の場である小地域の福祉課題を、その地域の住民が中心となり解決していくよう地区担当職員を配置します。また、記録管理システムを活用して地域福祉活動の成果・課題の情報共有と分析を行います。</li> </ul>  | 地域福祉課   |
| ②   | <p>地域福祉推進委員会（仮称）の発足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域密着型の総合的・包括的な支援体制を確立するため、地域の人・物といった社会資源のネットワークづくりを構築し、住民ニーズが反映されやすい組織運営を目指すため、住民主体で検討を行う場を推進します。</li> </ul>  | 地域福祉課   |

【年次計画】

|   | 29年度  | 30年度 | 31年度 | 32年度 | 33年度 |
|---|-------|------|------|------|------|
| ① | 試行・検討 | 実施   | 評価   |      |      |
| ② |       | 検討   | 実施   | ⇒    | ⇒    |

|            |               |                    |
|------------|---------------|--------------------|
| 重点実施<br>項目 | 大項目           | 3. 新たな事業展開に向けた取り組み |
|            | 中項目           | (2) あらゆる生活課題への取り組み |
| 行 動 計 画    | ① 地域ニーズの把握と分析 |                    |

【達成目標】

|  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業を通じて地域の福祉課題を捉え直し、地域住民やあらゆる団体・組織に働きかけ、新たな福祉サービスや活動プログラムの開発に挑戦します。</li> <li>・制度の狭間にある福祉課題や地域で孤立している世帯・複合的な課題を抱えている世帯への支援など、これまでの制度や住民福祉活動で対応しきれなかった課題解決に向けて積極的に推進します。</li> </ul> |
|--|

【実施内容】

| No. | 内 容  | 推進（副）担当 |
|-----|--|---------|
| ①   | <p>地域課題や地域の社会資源の把握（地域診断、ニーズ把握）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に様々な形でアウトリーチすることで、地域課題や地域資源の把握を行った上で、地域住民と共有を図ります。その結果、それぞれの立場で「できること」の検討を協議します。</li> </ul>       | 地域福祉課   |
| ②   | <p>小規模多機能型居宅介護の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理制度の更新時期に向けて、地域のサービス需要、供給のバランスの状況把握と地域課題の分析、ニーズを把握します。事業の見直しを行い、地域の現状にあったサービスへの転換を検討します。</li> </ul>           | 介護福祉課   |
| ③   | <p>予防重視型事業の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防に重点を置いた事業の検討をします。</li> </ul>  | 介護福祉課   |

【年次計画】

|   | 29 年度 | 30 年度 | 31 年度 | 32 年度 | 33 年度 |
|---|-------|-------|-------|-------|-------|
| ① | 調査    | 評価    |       |       |       |
| ② |       |       |       | 検討    |       |
| ③ |       |       |       | 検討    |       |

|            |                  |                    |
|------------|------------------|--------------------|
| 重点実施<br>項目 | 大項目              | 3. 新たな事業展開に向けた取り組み |
|            | 中項目              | (2) あらゆる生活課題への取り組み |
| 行 動 計 画    | ② 権利擁護・相談支援体制の充実 |                    |

【達成目標】

- 生活支援等を目的とした事業を一体的に展開することにより、権利擁護機能の確立と既存制度の活用に留まらない総合的な相談窓口としての機能の充実に努めます。

【実施内容】

| No. | 内 容  | 推進（副）担当 |
|-----|--|---------|
| ①   | <p>組織的な個別ニーズ対応の仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個別ニーズを職員で共有し、各担当の専門性を活かしたニーズ解決が出来る仕組みをつくります。特にニーズの効果的な記録・蓄積などに取り組みます。</li> </ul>  | 地域福祉課   |
| ②   | <p>連携における役割分担の明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多様なケースに応じた生活支援の役割分担を明確するとともに、専門的な相談窓口や情報提供体制の強化、横断的な連携・ネットワークにより、福祉サービスの向上と充実に図ります。</li> </ul>  | 地域福祉課   |

【年次計画】

|   | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 32年度 | 33年度 |
|---|------|------|------|------|------|
| ① |      | 検討   | 実施   | ⇒    | ⇒    |
| ② |      |      |      | 検討   |      |

|            |                  |                    |
|------------|------------------|--------------------|
| 重点実施<br>項目 | 大項目              | 3. 新たな事業展開に向けた取り組み |
|            | 中項目              | (2) あらゆる生活課題への取り組み |
| 行 動 計 画    | ③ 生活支援サービスの開発・実施 |                    |

【達成目標】

・高齢者等が地域社会を支える一員として積極的に社会参加をし、生きがいを持っていきいきと暮らせるように、また、要支援・要介護状態になっても、可能な限りその居宅において、尊厳を保ちながら自立した日常生活を営むことができるように、生活の質の向上とサービスの質の向上に努めます。

【実施内容】

| No. | 内 容  | 推進（副）担当        |
|-----|--|----------------|
| ①   | 住民参加型在宅福祉サービスの実施<br>・様々な地域課題に対し、従来の活動スタイルにとらわれず、有償の福祉活動メニューを増やすなど、個々のニーズや地域特性に対応した柔軟な活動スタイルの創造に努めます。 | 地域福祉課          |
|     | 生活困窮者の自立に向けた支援の強化<br>・生活困窮者に対し、包括的な支援が継続的に受けられるよう、関係機関との連絡調整を行い、相談・支援体制の充実を図ります。                     |                |
| ③   | 生活援助が必要な人へのヘルパー派遣<br>・生活困窮者、引きこもり者等で援助が必要な方の支援について、ニーズ把握とヘルパー派遣の検討を行います。                             | 地域福祉課<br>介護福祉課 |
|     |  |                |

【年次計画】

|   | 29年度  | 30年度 | 31年度 | 32年度 | 33年度 |
|---|-------|------|------|------|------|
| ① | 実施    | ⇒    | 評価   | 実施   | ⇒    |
| ② | 実施    | ⇒    | ⇒    | ⇒    | ⇒    |
| ③ | ニーズ把握 | 検討   | 実施   | ⇒    | ⇒    |

|        |                   |                      |
|--------|-------------------|----------------------|
| 重点実施項目 | 大項目               | 4. 良質な福祉サービスの提供      |
|        | 中項目               | (1) 質の向上に向けた継続的な取り組み |
| 行動計画   | ① サービス管理体制・仕組みの構築 |                      |

【達成目標】

- ・良質かつ適切な福祉サービスを、個別ニーズに合わせて提供することはもとより、継続的に福祉サービス全体の質の向上に向けた体制や仕組みを構築することが求められます。また、事故発生後の対応に適切に取り組むことだけでなく、事故の再発防止や苦情相談といった場面を通して、サービスの質の向上を図る体制の整備や実践に取り組めます。

【実施内容】

| No. | 内 容  | 推進（副）担当       |
|-----|--|---------------|
| ①   | <p>サービス提供方針の明文化と浸透</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「組織」として事業を機能させるために、法人の方針や事業計画についてその目的やねらいを全職員が理解します。</li> </ul>  | 法人横断<br>(総務課) |
| ②   | <p>苦情・相談体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者やその家族からの苦情・相談に誠意をもった的確に対応するために、苦情受付担当者の設置や第三者委員の選任など、是正・改善の取り組みを継続します。</li> </ul>   | 法人横断<br>(総務課) |
| ③   | <p>リスクマネジメント体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リスクマネジメントに関するマニュアルの策定、委員会の設置等リスクマネジメント体制の検討を進めます。</li> </ul>   | 法人横断<br>(総務課) |

|   |  |                |
|---|--|----------------|
| ④ | サービスの自己点検と改善   | 法人横断<br>(総務課)  |
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>提供するサービスについて、継続的に自己点検を行い、事業を推進していく上で想定されるリスクについて、洗い出し、各リスクの重要度を検討した上で必要な対応に取り組みます。</li> </ul> |                |
| ⑤ | 業務手順書・各種マニュアルの見直し策定及び周知  | 地域福祉課<br>介護福祉課 |
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>業務の標準化、共有化をはかり、統一した業務行動となるよう、業務マニュアル等の整備を進めます。</li> </ul>                                     |                |
| ⑥ | 事故報告書・ヒアリハット報告書の分析と再発防止に向けた取り組み  | 地域福祉課<br>介護福祉課 |
|   | 職場内で報告書等の義務づけ及び提出しやすい環境づくりに努めます。「情報の収集→分析→再発防止策の構築→改善策の履行の検証」といった継続的なサービス改善を行います。  |                |

【年次計画】

|   | 29年度  | 30年度 | 31年度 | 32年度 | 33年度 |
|---|-------|------|------|------|------|
| ① | 実施    | ⇒    | ⇒    | ⇒    | ⇒    |
| ② | 実施    | ⇒    | ⇒    | ⇒    | ⇒    |
| ③ | 検討    | ⇒    | 実施   | ⇒    | ⇒    |
| ④ | 実施    | ⇒    | ⇒    | ⇒    | ⇒    |
| ⑤ | 実施    | ⇒    | ⇒    | ⇒    | ⇒    |
| ⑥ | 検討・実施 | 実施   | ⇒    | ⇒    | ⇒    |

|            |                           |                          |
|------------|---------------------------|--------------------------|
| 重点実施<br>項目 | 大項目                       | 5. 経営基盤の強化・安定に向けた取り組みの推進 |
|            | 中項目                       | (1) 公正かつ透明性の高い適正な経営の取り組み |
| 行動計画       | ① 組織統治体制の確立と組織が機能しやすい体制作り |                          |

【達成目標】

- ・多様な福祉課題に対応できるよう事務局組織の改編、拠点の検討を行い、組織全体での課題解決を目指します。

【実施内容】

| No. | 内 容   | 推進（副）担当       |
|-----|---|---------------|
| ①   | 社会福祉法人制度改革への対応<br>・社会福祉法の改正に伴い、29年度以降に検討実施すべき項目、継続対応すべき項目を洗い出して、推進担当者や推進スケジュール等の方向性を示します。                 | 総務課<br>(法人横断) |
| ②   | 事務局拠点の在り方の検討<br>・現在の事業実施上の課題、今後の事業展開を考慮して、理想的な事務局拠点の在り方を協議して、必要あれば拠点整備の見直しを検討・実施します。(例：地域特性に合わせた事業展開を目指す) | 総務課<br>(法人横断) |
| ③   | 倫理規定構築<br>・社協の倫理規定を構築し、全ての職員が遵守していけるように理解の浸透をはかります。   | 総務課<br>(法人横断) |

【年次計画】

|   | 29年度 | 30年度  | 31年度  | 32年度 | 33年度 |
|---|------|-------|-------|------|------|
| ① | 実施   | ⇒     | ⇒     | ⇒    | ⇒    |
| ② | 情報収集 | ⇒     | 検討・実施 | ⇒    | ⇒    |
| ③ |      | 策定・実施 |       |      |      |

|            |                     |                          |
|------------|---------------------|--------------------------|
| 重点実施<br>項目 | 大項目                 | 5. 経営基盤の強化・安定に向けた取り組みの推進 |
|            | 中項目                 | (2) 経営の進行管理・分析による健全経営の確認 |
| 行動計画       | ① 計画の進行管理と評価・見直しの徹底 |                          |

【達成目標】

- ・本計画の進行管理を徹底するため、進捗状況の確認と評価を単年度ごとに実施するとともに、計画期間の中間年には新たな事業の追加や削除等も検討し、実態に即した計画となるようにします。

【実施内容】

| No. | 内 容  | 推進（副）担当 |
|-----|--|---------|
| ①   | 法人・地域福祉課・介護福祉課の定期的な進捗状況確認<br>・年度別評価をフォーマットに基づいて確実にを行います。                     | 法人横断    |
| ②   | 計画中間年で、評価・検証の実施<br>・平成31年度に実施状況を確認し、後期計画が実態に即した内容となるよう、事業の追加・削除等も含め見直しを行います。 | 法人横断    |

【年次計画】

|   | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 32年度 | 33年度 |
|---|------|------|------|------|------|
| ① | 実施   | ⇒    | ⇒    | ⇒    | ⇒    |
| ② |      |      | 実施   |      |      |

|            |           |                          |
|------------|-----------|--------------------------|
| 重点実施<br>項目 | 大項目       | 5. 経営基盤の強化・安定に向けた取り組みの推進 |
|            | 中項目       | (2) 経営の進行管理・分析による健全経営の確認 |
| 行動計画       | ② 財政基盤の強化 |                          |

【達成目標】

- ・将来に備えて財務基盤を確立するため、適正な収支管理を目指します。人材確保や設備の入れ替え、急な情勢変化に対応できる資産確保を検討しながら財務基盤の安定化を目指します。

【実施内容】

| No. | 内 容   | 推進（副）担当       |
|-----|---|---------------|
| ①   | 半期・年間経営分析の実施<br>・中間監査の実施に合わせた半期決算を行い、事業の評価と併せて経営分析を行います。          | 総務課<br>(法人横断) |
| ②   | 月次実績会議の開催<br>・月次毎に実績管理を行います。<br>・課内で、各事業所の現状の確認を行い、職員にフィードバックします。 | 介護福祉課         |

【年次計画】

|   | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 32年度 | 33年度 |
|---|------|------|------|------|------|
| ① | 実施   | ⇒    | ⇒    | ⇒    | ⇒    |
| ② | 実施   | ⇒    | ⇒    | ⇒    | ⇒    |

|            |             |                          |
|------------|-------------|--------------------------|
| 重点実施<br>項目 | 大項目         | 5. 経営基盤の強化・安定に向けた取り組みの推進 |
|            | 中項目         | (2) 経営の進行管理・分析による健全経営の確認 |
| 行 動 計 画    | ③ 収益向上の取り組み |                          |

【達成目標】

- ・社協会員の加入促進を図るため、新規会員の開拓を進めます。介護福祉事業においては、介護報酬収入等による自立し安定した経営を目指すと共に、本会全体でコスト意識の徹底を図り経費の節減に努めます。また、地域事業を推進する上での重要な財源である共同募金についても、運動の拡大を図ります。



【実施内容】

| No. | 内 容   | 推進（副）担当        |
|-----|---|----------------|
| ①   | 事業収入増に向けた取り組みの検討・実施<br>・介護保険収入及び障害福祉サービスの収入を上げるための工夫、及び全職員からの情報提供などの取り組みを進めます。<br>・魚沼市からの受託事業の拡大及び新規事業の効率的な運用にむけた情報収集を行います。 | 総務課<br>(法人横断)  |
| ②   | 収益事業の検討<br>・法人会員との情報交換を通して、可能な事業への参入の検討を行います。   | 総務課<br>(法人横断)  |
| ③   | 社協会費及び共同募金の拡大に向けた取り組み<br>・地域自治会との連携強化、効果的な広報、法人会員の拡大を目指します。   | 総務課<br>(地域福祉課) |

|   |  |                 |
|---|--|-----------------|
| ④ | <p>コスト意識の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職員一人ひとりがコスト削減の意識をもって日々業務にあたります。</li> </ul>  | 介護福祉課<br>(法人横断) |
| ⑤ | <p>利用者獲得の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サービス需要のニーズ分析を行うとともに、事業所の強みを明確にし、居宅介護支援事業所との連携を図り新規利用者の獲得に努めます。</li> </ul>   | 介護福祉課           |

【年次計画】

|   | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 32年度 | 33年度     |
|---|------|------|------|------|----------|
| ① | 実行   | ⇒    | ⇒    | ⇒    | ⇒        |
| ② |      | 情報交換 | 情報整理 | 戦略立案 | 具体的手法の検討 |
| ③ | 連携強化 | ⇒    | ⇒    | ⇒    | ⇒        |
| ④ | 実施   | ⇒    | ⇒    | ⇒    | ⇒        |
| ⑤ | 実施   | ⇒    | ⇒    | ⇒    | ⇒        |

|            |              |                          |
|------------|--------------|--------------------------|
| 重点実施<br>項目 | 大項目          | 5. 経営基盤の強化・安定に向けた取り組みの推進 |
|            | 中項目          | (3) 人材確保・定着に向けた取り組み      |
| 行動計画       | ① 働きやすい職場づくり |                          |

【達成目標】

- ・ 職員の仕事に対する能力が無駄なく発揮できるよう職場環境の点検及び整備を行い、長時間の労働時間とならないよう必要な措置を行います。

【実施内容】

| No. | 内 容   | 推進（副）担当       |
|-----|---|---------------|
| ①   | モラールサーベイチェックの継続実施<br>・ 職場環境のチェックの為、定期的に行い、改善点の抽出を行い、働きやすい職場を目指します。（全職員対象）   | 総務課<br>（法人横断） |
| ②   | ライフワークバランスに配慮した取り組み<br>・ 仕事をしやすい環境を目指し、プロジェクトチームを発足し、検討課題を抽出します。  | 総務課<br>（法人横断） |
| ③   | 職員間のコミュニケーションの活性化の取り組み検討と実施<br>・ コミュニケーションが活発に行われる職場風土をつくり、社協内横断的なメンバーによる様々なワーキングチームをつくることで、良好な人間関係とチームワークを発揮できる組織を目指します。<br> | 総務課<br>（法人横断） |

【年次計画】

|   | 29年度 | 30年度 | 31年度   | 32年度  | 33年度  |
|---|------|------|--------|-------|-------|
| ① |      | 実施   | 分析     | 改善案協議 | 改善案実施 |
| ② |      |      | メンバー策定 | 改善案協議 | 改善案実施 |
| ③ | 実施   | ⇒    | ⇒      | ⇒     | ⇒     |

|            |                 |                          |
|------------|-----------------|--------------------------|
| 重点実施<br>項目 | 大項目             | 5. 経営基盤の強化・安定に向けた取り組みの推進 |
|            | 中項目             | (3) 人材確保・定着に向けた取り組み      |
| 行 動 計 画    | ② 給与制度の課題整理と再構築 |                          |

【達成目標】

- ・職員の処遇改善と資格取得などのモチベーションの維持を図るため、職務及び資格等に応じた手当について、その財源等含め検討を進めます。

【実施内容】

| No. | 内 容  | 推進（副）担当               |
|-----|--|-----------------------|
| ①   | <p>役割に応じた職務手当・資格手当の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職務に応じた手当、資格取得によって業務に優位性があるかどうか、財務内容と合わせた手当の支給が可能かどうか検討し、可能であれば実行します。</li> </ul>  | <p>総務課<br/>(法人横断)</p> |

【年次計画】

|   | 29年度 | 30年度  | 31年度 | 32年度 | 33年度 |
|---|------|-------|------|------|------|
| ① |      | 分析・検討 | ⇒    | 結論   |      |

|            |                         |                          |
|------------|-------------------------|--------------------------|
| 重点実施<br>項目 | 大項目                     | 5. 経営基盤の強化・安定に向けた取り組みの推進 |
|            | 中項目                     | (3) 人材確保・定着に向けた取り組み      |
| 行 動 計 画    | ③ 人材育成プログラムの整備と職場内研修の推進 |                          |

【達成目標】

- ・ 職員の向上心や業務に対する高度な知識を習得できるよう研修の機会を設けるとともに、キャリアパスの具体的な運用を目指します。併せて、職員の努力に対する評価が見える形でできるように評価制度の検討をします。

【実施内容】

| No. | 内 容   | 推進（副）担当       |
|-----|---|---------------|
| ①   | 研修体系の整備<br>・ 職員研修委員会の議論を踏まえ、研修体系構築を目指します。中でも、階層別研修の実施内容を優先協議して明確化します。 | 総務課<br>(法人横断) |
| ②   | キャリアパス要件整備<br>・ 本会にあったキャリアパスの策定構築と運用、職務記述書も合わせて整備を行います。               | 総務課<br>(法人横断) |
| ③   | 面談の継続実施<br>・ 毎年2回の面談の継続を行い、中間に評価、修正が行えるようにします。                        | 総務課<br>(法人横断) |
| ④   | 人事評価の在り方検討<br>・ 職務記述書、キャリアパスの構築を行いながら、評価できるような環境を策定します。               | 総務課<br>(法人横断) |

【年次計画】

|   | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 32年度 | 33年度        |
|---|------|------|------|------|-------------|
| ① |      |      | 実施   | ⇒    | ⇒           |
| ② | 検討   | ⇒    | 実施   | ⇒    | ⇒           |
| ③ | 実施   | ⇒    | ⇒    | ⇒    | ⇒           |
| ④ |      |      | 検討   | ⇒    | 検討結果<br>の反映 |

## Ⅵ. その他

### 1. 計画策定会議の実施状況

本計画の策定には、事務局長・各課長で構成する『事務局会議』と、事務局会議のメンバーに加え、各課職員が加わった『計画策定会議』を立ち上げ、それぞれ役割を持ちながら検討してきました。

検討の経過は、次のとおりです。

| 期 日           | 会 議 等    | 内 容  | 会 場                  |
|---------------|----------|--|----------------------|
| H28年<br>6月29日 | ①事務局会議   | <ul style="list-style-type: none"> <li>計画策定の進め方</li> <li>計画に盛り込む内容</li> <li>次回以降の進め方</li> </ul>        | 小出ボラン<br>ティアセン<br>ター |
| 7月15日         | 計画説明     | <ul style="list-style-type: none"> <li>係長、管理者向け中長期計画（仮称）の説明</li> </ul>                                 |                      |
| 7月15日         | ②事務局会議   | <ul style="list-style-type: none"> <li>各課別宿題の整理</li> <li>計画全体の構成</li> </ul>                            |                      |
| 8月19日         | ①計画策定委員会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>計画骨子の協議</li> <li>実施内容の検討</li> <li>今後の進め方</li> </ul>             |                      |
| 9月23日         | ②計画策定委員会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>計画骨子の確認</li> <li>ヒト、モノ、カネのバランス</li> <li>各課ごとの課題のバランス</li> </ul> |                      |
| 11月15日        | ③計画策定委員会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>実施内容の整理</li> <li>担当部門の明確化</li> </ul>                            |                      |
| H29年<br>1月10日 | ④計画策定委員会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>計画全体像の整理</li> <li>振返り時期</li> <li>部門を横断する課題の実施</li> </ul>        |                      |
| 2月13日         | ⑤計画策定委員会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>実施内容の検討</li> </ul>  |                      |
| 3月20日         | ⑥計画策定委員会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>計画全体像の確認</li> </ul>   |                      |

※事務局会議：事務局長、総務課長、地域福祉課長、介護福祉課長

## 2. 計画策定委員

---

計画策定委員は、次のとおりです。

| 所 属   | 職 名     | 氏 名    |
|-------|---------|--------|
|       | 事務局長    | 下村 耕平  |
| 総務課   | 課長      | 上村三千男  |
| 地域福祉課 | 課長      | 坂大 優   |
|       | センター長   | 阿部 直実  |
|       | 主事      | 富永 洋介  |
| 介護福祉課 | 課長      | 横山 京子  |
|       | 係長      | 大平 妙子  |
|       | 介護支援専門員 | 佐々木 誠也 |

※策定コンサルタント (株)川原経営総合センター

